

## ZEBや再エネなど 新技術へ理解深める 道設備設計事務所協会が発表会

北海道設備設計事務所協会は6日、札幌カーデンプレスで技術発表会と展示会などを開き、担当者が新技術について知識を深めた。

堀井淳史技術委員長は「省エネルギー化や脱炭素化の設計業務が急速に

時代に対応した提案に向け理解を深めた



加速する中、ZEBや新エネルギー利用、災害対策などの発表がされる。内容をよく聞き、これからの設計業務に役立ててほしい」とあいさつ。

2会場での発表会のうち、先行した機械部門では、北海道ガス（本社・札幌）の担当者がレジリエンス性を高めたZEBの普及拡大に向けてと題して採用事例も交えて解説した。

電気部門では、エナジア（本社・福島）の担当者が再生可能エネルギーや未利用エネルギーを電気自動車と住宅の相互で電力確保して防災対策を図る事例などを紹介した。

それぞれの会場では機械8社、電気7社の発表が続き、参加者は質疑応答や展示に触れ、理解を深めた。最後に185人が参加して懇親会を開いた。